

ニューオーリンズ復興プロジェクト通信 1

ゴスペル東京 第9回 チャリティコンサート 特別号

ニューオーリンズ復興プロジェクト (NRP)活動報告

支援金をニューオーリンズに届けました

2007年10月20日午後4時30分(現地時間)、リジョイシ・イン・ザ・パーク・ゴスペル・フェスティバル(ニューオーリンズのルイ・アームストロング公園内にあるコンゴ・スクエアで開催)のステージ上で、NRP第3回支援金「額面\$7,680.34(=¥908,200)の小切手」をロイス・デジャンさんに直接手渡しました。支援金は貧しいアフリカン・アメリカンの人々を音楽で支えるために粘り強く尽力されているロイス・デジャンさんを通じ、ニューオーリンズに音楽を取り戻すための活動の一部として役立てられます。

ハリケーン「カトリーナ」被災直後(2005年9月)の活動開始から募金、チャリティライブ、Tシャツやオリジナルエコバッグ等グッズ販売、フリーマーケット参加などを通じて集められた支援金累計額(2005年9月1日~2007年10月16日)は、US\$17,680.34(=¥2,100,400)となりました。内訳は以下の通りです。

- 第1回支援金額 \$5,000 = ¥586,750 2006年1月18日受渡 (+送金手数料等 ¥4,000)
- 第2回支援金額 \$5,000 = ¥595,450 2007年1月13日受渡 (+送金手数料等 ¥3,200)
- 第3回支援金額 \$7,680.34 = ¥908,200 2007年10月20日受渡 (+手数料 ¥2,800)

多くの方々のご支援・ご協力に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

素朴な疑問にお答えします

Q ロイス・デジャンさんってどんな人?

「淡野保昌プロデュース ゴスペルの源流を訪ねる旅 Part 2」というツアー(2003年)でニューオーリンズを訪れた時にお世話になったエベニーザ・バプテスト教会の専任牧師。マヘリア・ジャクソン・ゴスペル・ミュージック・クワイアの創始者、ディレクターでもあります。スラム地区の貧しい人々の救済活動や、ティーンズをドラッグ禍から音楽によって救い出すための活動 Y.I.C.I.(青少年ゴスペルプログラム)を約20年継続。また、映画『ラスト・ホリデイ』(2006年/主演:Q.ラティファ)に、エベニーザ・バプテスト・チャーチ・クワイアとともに出演されています。

Q デジャンさんのことば

2003年10月、ディナーの席で「クリスチャンでなくてもゴスペルを歌えますか」という私たちの質問に答えて――

「あなたがたがクリスチャンであるかどうかはまず問題ではありません。また、いかにうまく歌うかでもありません。ゴスペルは技法ではなく、自由に歌えるかどうか、日々の生活の中でどう活かしているかが重要なのです。そうでなければ、聴く人の心に入っていくことはできません」

2005年12月、ハリケーン「カトリーナ」被災から約3ヵ月後、自らも全財産を失うなか「今、何が必要ですか」と訊かれて――「あらゆるものが破壊され、すべてを失い、人々も戻ってこない今、何が必要なかわかりません。ただ、たしかなことがふたつあります。まず、ニューオーリンズを元通りにするということは、人々をこの地に戻すということ。そして、今、もっとも欠乏しているのは心の糧、生き続けるためのエネルギーであるということ。聖職者であり音楽人である私に課せられた使命は、苦境にあっても信仰を強く維持し、音楽を通じて人々の心に生き続けるエネルギーを喚起することです」

Q ニューオーリンズってそもそもどんなところ?

アメリカ南部にある音楽の都です。ジャズ、ゴスペル、ブルース、R&B、ファンク、ロックをはじめとする素晴らしい音楽を育

み、世界中のポップ・ミュージックにはかりしれない影響を及ぼしました。もしニューオーリンズがなかったら、現在のポピュラーミュージックはまったく別のものになっていたでしょう。また、文化的にもフランスやスペイン統治時代の影響が色濃く残り、カリブ文化も入り混じった独特の文化風土があります。料理もバラエティ豊かで驚くほど美味。人々はおおらかに温かく、観光地としても素晴らしい土地です。

現在、ニューオーリンズの中心地はほぼ復興し、観光客で賑わっていますが、未だに被災直後から時間の止まったような場所も残っています。復興から取り残され、今なお生まれ育ったところに戻れずに苦境の中で暮らす人々が大量にいます。現在もニューオーリンズの真の復興と音楽の回復は道半ばといわざるをえません。

Q これから NRP はどうするの?

今、世界では大規模な災害が続発し、緊急の支援が求められている状況ですが、同時に、それぞれの場所が真に復興するまでには息の長い支援が必要だということにもあらためて気付かされます。私たち NRP は、当初から活動期間を2年間と定めていたのですが、このような活動はたとえ細々とであっても長く続けることが重要という考えに基づき、2年半を経過した今、発展的に次の段階に進みたいと考えています。今後はニューオーリンズ情報の発信や意見交換を行いつつ、個々のプロジェクトの企画・参加などを検討課題としていきます。これまでと同様、音楽のつながりをベースとして、オープンに活動していきたいと考えていますので、音楽を愛するみなさんのご参加・ご支援をお願い申し上げます。

ゴスペルの源流を訪ねる旅+ニューオーリンズ復興プロジェクト

The Gospel River

<http://www004.upp.so-net.ne.jp/gospel-river/>

ウェブサイトではさらにくわしい情報、新しいニュースを随時UPしています。オープンな意見交換も大歓迎です。ぜひお立ち寄りください!

♪ではまた次号でお会いしましょう♪